

学年	1年		主題名(内容項目)	心から信頼できる友達(B-8 友情、信頼)	
教材名	近くにいた友				
ねらい	互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。				
研究の重点	発問	学び合いの工夫	板書	提示	
実施した内容と生徒の様子					
・木曜日アンケートを利用して、全クラスに「友達ってなんですか。」というアンケートをとった。ジャンプの三原則のあと、アンケート結果を系統別にして提示した。 ⇒「これ、俺の意見やん。」などの声が上がった。 ⇒最後の発問の答えに変化が見られた。(より具体的になった。) 「どんな時でも一緒にいてくれる。SOSのとき、助けてくれる。表では仲良くないのかもしれないけれど本当は自分のことをさりげなく支えてくれる。」(1C女子) ・ロールプレイは今までしたことがなかったので、代表者が恥ずかしがる場面もあり、真剣さにはかけてしまった感じもした。 ・教科書の発問を以下のように変更し、中心発問とした。 ○自分が誰かにとっての「本当の友達」になるためには、どんなことが必要だろう。 ◎自分が誰かにとっての「本当の友達」(支え)になるためにできることは何ですか。					
生徒がわかりやすいように発問を変更したが、書きにくいと感じている生徒が少なくなかった。					
・「「本当の友達」の意味が分からない。」や「自分にはまだ本当の友達がいない。」といった率直な意見もあった。 「僕は、「本当の友達」と思える人がいないし、相手がどう思っているのかもわからないので、何をしたら支えになるか分からないけれど、相手と自分が心を開けたらいいと思いました。」1A男子 ・友達に感謝する言葉や、実際に友達が困っていたら力になりたいなどの感想が多かった。					
良かった点や改善点等					
・導入の際に、パワーポイントを使いジャンプの三原則(友情・努力・勝利)を提示した。生徒にとって馴染みのある雑誌だったために、興味・関心を引くことができた。 ・ロールプレイを全員に体験させようと思ったが時間がなかったために、クラスの代表者にしてもらった。時間短縮にもなり良かったかもしれない。 ・中心発問が最後にあり、学年で協議した際に最後に中心発問をもってくるのは違和感があるとの意見が出た。 ・教材を前半・後半に分けることで、後半の展開を予想させることができた。教材を深めるのに効果的であった。 ・発問の数が多すぎたため、生徒にじっくり考える時間の十分にとることができなかった。(5問)					